

『ピューロランドのダンサー』 スクリプト

その1

- A: 可愛くてユーモラスなキャラクター。日本には、たくさんのキャラクターがいて、子供だけではなく、大人にも人気があります。今日は、そんなキャラクターと一緒に仕事をしている女性を紹介します。
- A: ここは、東京多摩市にあるサンリオピューロランドです。今日はここで働いている方に、色々な話をうかがいます。
- A: はじめまして、今日はどうぞ宜しくお願いします。
- B: 宜しくお願いします。
- A: まず、お名前をお願いします。
- B: はい、安福由美子と申します。
- A: お仕事は何ですか。
- B: はい、「サンリオピューロランド」というテーマパークでダンサーをしています。日本には色々なテーマパークがありますが、ピューロランドでは外国の会社ではなく日本の企業によって作られました。日本オリジナルのテーマパークです。中には、アトラクションやシアター、キャラクターの家などがあります。子供だけではなく大人も一緒に楽しめます。
- A: そうですか。館内にはたくさんのキャラクターがいるんですね。
- B: そうです。子供たちはキャラクターと遊ぶこともできます。どのキャラクターも子供たちは大好きですが、中でも一番人気があるのはキティちゃんですね。
- A: キティちゃんは猫のキャラクターですね。
- B: はい、そうです。ピューロランドにはキティちゃんの家もあるんです。
- A: 最近では、日本だけでなく、アジアやその他の国でも人気があるそうですが。
- B: ええ、そうなんです。ですから、ピューロランドには、日本国内だけではなく、色々な国の方が訪れます。

その2

- A: ダンサーをしているということですが、具体的にはどんなところで踊るのですか？
- B: 館内にはシアターがいくつかあります。そのステージで、キティやシナモンをはじめ人気キャラクターが登場するライブショーやミュージカルに出演しています。

A: キャラクターと一緒に踊るんですか。それじゃ、例えば、キティちゃんと共に演ずることもありますか。

B: はい。私もキティちゃんが好きですから、同じステージに立てるととても嬉しいです。

A: それは楽しそうですね。安福さんがダンスを始められたきっかけは何ですか。

B: そうですね・・・、私達が小さいころピンクレディーという女性二人組の歌手がいて、人気があったんです。その歌と振り付けが大好きで、よくまねをしていました。その頃、女の子はみんなピンクレディー

にあこがれて、まねをして、踊っていたんですよ。

A: わたしも見たことがあります。

B: 中学生になって、見学した学校のクラブがダンスのクラブでした。面白そうなので入ってみました。

その後、高校でもダンスクラブに所属し、短大では舞踊を専攻し、ずっとダンスの勉強を続けてきました。

特に中学、高校のクラブでは先生がきびしく、練習も大変でしたが、ダンスの基礎をみっちり教えてもらいました。

A: それでは、今のお仕事は小さい頃からの夢だったんですね。

B: 今から思えばそうですね。

その3

A: 学校を卒業してすぐにピューロランドで働き始めたんですか。

B: いいえ、しばらくは芸能プロダクションに所属して、教育のビデオなどに出たりしていました。でも、どうしてもダンスの仕事がしたくて、ピューロランドのオーディションを受け、採用されました。

A: そうですね。すぐに舞台に立てましたか。

B: はい、幸いにもピューロランドに入ってからすぐに妖精フローレンスというライブショーの主演をやることができました。

A: いきなり主演ですか！それはすごいですね。

B: ありがとうございます。

A: ところで、お仕事は毎日ですか。ダンサーと言うと毎日練習を欠かさないイメージがあって、大変だと思いますが。

B: 舞台があるときは、日に2回～5回ほどステージに立ちます。ステージが終わった後も、ダンスの練習があります。ミュージカルですから、ダンスだけではなく歌も歌いま

す。歌は、以前、テレビの子供番組で、歌のお姉さんをしていたので、その時練習しました。

A: こういうところは、休日が忙しいですね。

B: そうですね。仕事のスケジュールは普通の会社で働いている人とだいぶ違います。3日出て1日休みという感じですね。お正月や夏休みなど、人が休みの時は休めません。

A: それは大変ですね。普段からダンサーとして何か注意していることはありますか。

B: そうですね……。太ることができないので、健康管理には気をつけています。例えば、十分睡眠をとるようにしています。それに、夏でも日焼けをしないように注意していますね。

A: なるほど。他にはなにかありますか。

B: いいえ、特にありません。大好きなお仕事を楽しくさせてもらっていますので、それほど大変なことはありませんね。

A: 好きな仕事ということですが、ダンサーという仕事のやりがいはなんですか。

B: とにかく踊って何かを表現するというのが楽しいです。どうやったらうまく表現できるかじっくり考えて、同じ振り付けでも、それぞれ自分の個性を出せることがとても面白いと思います。それに、例えば、私のこの衣装と同じ衣装をお母さんに作ってもらって、それを着てショーを見に来てくれる子供がいましたね。私のことを覚えてくれていて嬉しかったし、その子の衣装もとてもかわいかったですよ。

その4

A: 先ほどもお話に出てきましたが、今海外でも大人気のキティちゃんについて、安福さんはどう思いますか。

B: 私もキティちゃんが好きです。そのキティちゃんが日本だけでなく、海外の人達にも気に入ってもらえて、とても嬉しいです。

A: ステージの上から外国のお客様はわかりますか？

B: はい、海外からのお客様は舞台から見ていて、リアクションで違いがわかるんですよ。でも、ことばが通じなくても一緒に写真を撮ったりキティちゃんと触れ合ったり、気持ちは十分通じ合います。

A: それは素晴らしいことですね。安福さんの将来の夢を教えてください。

B: そうですね。小さい頃からダンスが大好きで、今もずっと続けています。ですから、できればおばあちゃんになっても、ずっとダンスを続けていきたいですね。それから、最近では、ときどきダンスの振り付けのお手伝いをすることもあります。これからはもっと、ダンスの創作というお仕事にもかかわっていきたいと思っています。

A: それでは、最後に、舞台の上から世界の皆さんにメッセージをお願いします。

B: はい。舞台の上は、日常生活の空間とは違う夢の世界です。私達はその夢の世界の中で楽しく踊っています。是非皆さんも私達の夢の世界に来てください。きっと楽しいひと時を一緒に味わって頂けると思います。キティちゃん達と一緒にお待ちしております。